

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

大鹿村

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	森林景観整備事業
事業費		1,727,000 円 (うち支援金: 1,072,000 円)

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

大池高原は標高約 1500 メートルに位置し、林道沿線の森林の中に大池高原キャンプ場及び伝説の池大池につづく遊歩道が整備されている。

毎年草刈り等を実施し、施設周辺の維持管理を行っているが、支障木等も増えてきており、人力作業での維持管理に支障をきたしている。

(2) 本事業の目的

森林景観整備により、良好な景観づくりを図り森林整備の必要性を啓発する。また、観光の誘客効果を高め多くの人に森林の良さを体感してもらう。

事業内容

(1) 実施場所 大鹿村鹿塩 2461-1

(2) 対象 観光客、地域住民

(3) 実施方法 大池高原周辺の支障木伐採、刈払、整理

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 3 年度) 支障木伐採、刈払い、整理

②令和 3 年度実績 支障木伐採、刈払、整理 A=2.14ha



施工前



施工後

事業効果

(1) 事業実施による効果

森林整備により、森林の持つ多面的機能の維持増進が期待できる。また、景観が良くなることで、林道を利用して大池高原を訪れる観光客等多くの人々に森林整備の必要性を実感してもらえる。

(2) 継続性

森林景観整備により支障木等を除去することで、後年の草刈り等が容易になり、適正な維持管理が行える。

(3) 普及性

景観整備により、当地を訪れる人々に森林の魅力を伝えることができる。また、広報誌等でPRをおこなう。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

観光施設（大池高原キャンプ場、遊歩道等）周辺の支障木、下草が整理され、観光名所の一つである「伝説の池 大池」が、林道から見渡せるようになった。

(2) 課題

景観整備された大池高原周辺の森林について、観光部署と連携し、観光施設（大池高原キャンプ場、遊歩道等）とあわせてPRしていくことが肝要である。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

今後も他の公共施設周辺において森林景観整備を進める。

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない